



絵本のまち板橋

講演会シリーズ

世界の書棚から

第17回 チェコの絵本 昔と今

2023年8月5日（土）15:00～16:30

講師：高嶺エヴァ氏（チェコセンター東京 所長）

大沼有子氏（翻訳者）

まきあつこ氏（翻訳者）

司会：不破めぐみ（板橋区立中央図書館）

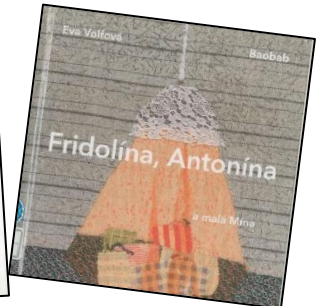
会場：板橋区立中央図書館 1階図書館ホール

（板橋区常盤台 4-3-1）

定員：30名（事前申込・先着順）



左：ヨセフ・ラダ さく/え、うちだりさこ やく
『きつねものがたり』（福音館書店）



右：Olga Černá, Tereza Horváthová 文、Eva Volfová 絵
『Fridolína, Antonína a malá Mína』（Baobab）

ヨーロッパの中央に位置するチェコの絵本は、文学的にも芸術的にも優れたものが多いことで知られ、チェコの人たちにとってもかけがえのない文化の一つとして親しまれています。今回は、『チェコの挿絵入り子どもの本の物語 1900年 - 2000年』（Sladovna Pisek o.p.s. 発行）をもとに、チェコの挿絵の入った子どもの本の一世紀を振り返りながら、各時代のすぐれた作品をご紹介します。

■参加申込方法

7月17日（月）9時より以下のサイトより申込受付開始します（先着順）。

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/oshirase/2000728.html>

■問い合わせ 板橋区立中央図書館 電話 03-6281-0291



主催 板橋区立美術館・板橋区立中央図書館

協力 チェコセンター東京

